

行政評価を活用した事務事業の見直し・改善等について

《実施計画と財政中期試算の関係》

実施計画

＜位置付け＞ ～「第2次総合計画 序論」より～

基本計画で定める施策の方向性に即して、具体的な事務事業を着実に実施していくため、毎年度の予算編成と連動させながら、その進捗を適切に管理する計画

＜ポイント＞

- 活動指標の設定による事務事業の目標管理
- 事業費の見込みや事業計画の公表による事業進捗の透明性確保（情報発信）
- 実施計画掲載事業を対象とした行政評価（事務事業評価）の実施

「実施計画」における事業費の見込みを勘案して作成した「財政中期試算」の結果を踏まえて、健全な財政運営に努めながら、第2次総合計画で掲げる目標の実現を着実に目指すという関係性を整理

財政中期試算

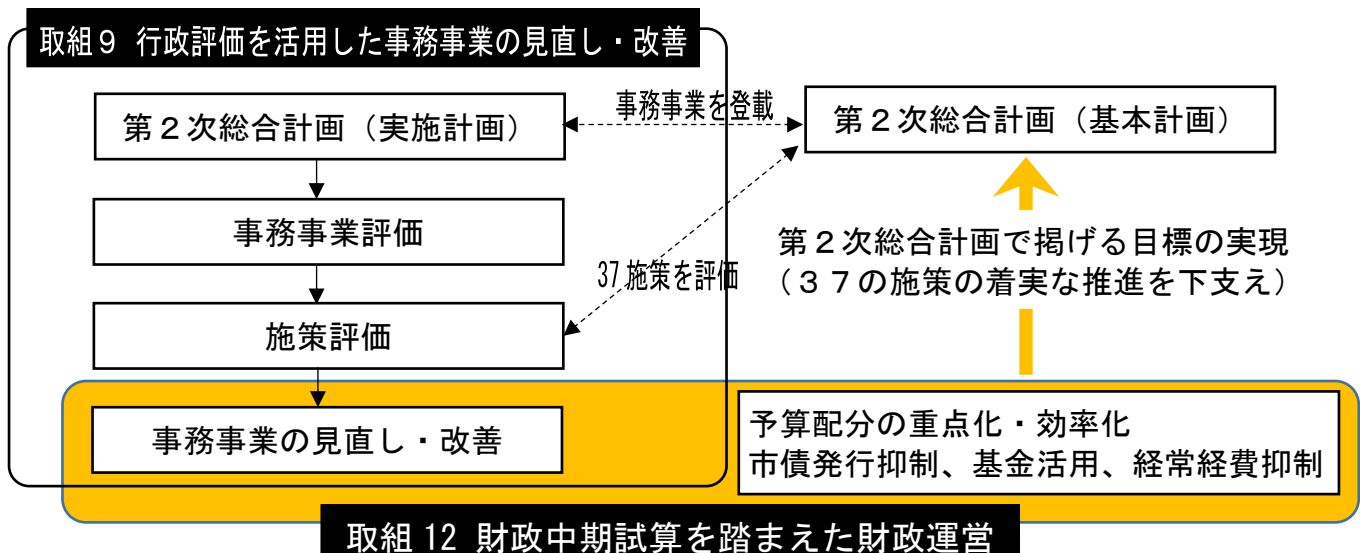
＜位置付け＞ ～「中期試算（平成29年度当初予算ベース）」より～

中期的な財政試算を行い、現状における市の実情を認識するとともに、将来の財政の健全性を確保しながら市民ニーズに対応した行財政運営を行うための指標とするもの

＜ポイント＞

- 収支の乖離（財源不足）の解消に向けた行財政改革等の必要性の明示

《行政評価を活用した事務事業の見直し・改善等の進め方》



実施計画と事務事業評価の様式イメージ(平成29年度事業)

実施計画(平成28年度作成)

政策名	4	便利で快適に暮らせるまちをつくる			
施策名	405	公共交通の充実			
施策の展開	1	コミュニティバスの運行			
	3	各種イベント等を通じた利用促進			
	4	ルート・ダイヤ等の見直し			
事業名	コミュニティバス運行費		事業の方向性	継続	
担当課	企画政策課				
事業目的	3路線で市内を循環するコミュニティバスにより、高齢者や主婦層等の日中市内移動の利便性を高める。また、各種イベント等を通じた利用促進に取り組むことにより、「あしがるバス」の認知度を高めるとともに、定期的なルート・ダイヤ等の見直しにより、市民ニーズへの対応を図る。				
活動指標①	あしがるバスの運行便数(1日あたり・便)				年度
	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	2019(平成31)年度	
[目標]	26	26			26
活動指標②	利用促進イベントの実施回数(回)				年度
	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	2019(平成31)年度	
[目標]	3	3			3
事業費(単位:千円)	2016(平成28)年度【最終予算】	2017(平成29)年度【当初予算】	2018(平成30)年度	2019(平成31)年度	
	41,328	43,122	43,122	43,122	
国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
その他	740	624	624	624	624
一般財源	40,588	42,498	42,498	42,498	42,498
事業計画	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	2019(平成31)年度	
	コミュニティバスの運行	→→→	→→→	→→→	
	利用促進策の実施	→→	→→	→→	
	公共交通に関する意識調査の実施	ルート・ダイヤ(10月予定)			
		運行事業者の切り替え(10月)			

●実施計画を作成する事務事業の政策体系を表示

●2017(平成29)年度以降の事業の方向性を記載

●行政活動そのものの結果に係る数値目標として「活動指標」を設定
●「活動指標」に即した行政活動の成果として、施策の「達成度指標」の改善や向上につながる関係性を整理

●2017(平成29)年度当初予算における事業費を基礎に、後年度の事業計画等を勘案して、2018(平成30)年度以降の事業費を見込む

●事務事業を中期的に展望し、進捗に関わる重要な事項を整理

事務事業評価(平成30年度作成)

政策名	4	便利で快適に暮らせるまちをつくる		
施策名	405	公共交通の充実		
施策の展開	1	コミュニティバスの運行		
	3	各種イベント等を通じた利用促進		
	4	ルート・ダイヤ等の見直し		
事業名	コミュニティバス運行費			
担当課	企画政策課			
事業目的	3路線で市内を循環するコミュニティバス「あしがるバス」を運行することにより、高齢者や主婦層等の日中市内移動の利便性を高める。また、各種イベント等を通じた利用促進に取り組むことにより、「あしがるバス」の認知度を高めるとともに、定期的なルート・ダイヤ等の見直しにより、市民ニーズへの対応を図る。			
活動指標①	あしがるバスの運行便数(1日あたり・便)			年度
	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	
[目標]	26	26	26	
活動指標②	利用促進イベントの実施回数(回)			年度
	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	
[目標]	3	3	3	
決算額(単位:千円)	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度【当初予算】	
	[]	[]	[]	
[執行率%]	[]	[]	[]	
国・県支出金				
地方債				
その他				
一般財源				
目標に対する実績の評価	●実績の要因分析や目標設定の妥当性などを評価			
効率性	●事業費の縮減状況や業務の簡素化といった視点から、事業の効率性を評価			
施策への寄与度	●活動指標の評価や施策の「達成度指標」の検証を踏まえ、当該事業の施策への寄与度を評価			

施策評価の様式イメージ [平成29年度施策 (平成30年度作成)]

政策4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 405 公共交通の充実

【施策の展開】

- 1 コミュニティバスの運行
- 2 レンタサイクルの運営
- 3 各種イベント等を通じた利用促進
- 4 ルート・ダイヤ等の見直し
- 5 福祉有償運送制度の運用

【「実施計画(平成28年度作成)」掲載事業】

- 1 コミュニティバス運行費
- 2 レンタサイクル費

I 平成29年度の主な取組結果

- 基本計画の「施策の展開」の項目に沿って、前年度の主な取組結果を整理
- 「達成度指標」や「活動指標」に設定していない指標（入場者数、参加者数等）の状況も交えて、取組結果をできる限り定量的に整理

II 達成度指標の状況

指標	基準値	目標値		実績値		
		前期計画	後期計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市民満足度調査における満足度	33.4%					
「あしがるバス」を知っている市民の割合	97.1%					
「あしがるバス」の1便あたりの利用者数	オレンジ:5.2人 グリーン:4.9人 サクラ :5.5人					
目標値（前期計画）に対する実績値の評価	●前年度時点までの達成度指標の状況を踏まえて、実績値の要因分析や目標値（前期計画）への到達見込み等を評価					

III 事務事業評価結果

事業名	決算額 [執行率%]		活動指標①		活動指標②	
	平成28年度	平成29年度	目標(平成29年度)	実績(平成29年度)	目標(平成29年度)	実績(平成29年度)
コミュニティバス運行費	[]	[]	あしがるバスの運行便数(1日あたり・便)		利用促進イベントの実施回数(回)	
レンタサイクル費	[]	[]				
各事業の施策への寄与度	●事務事業評価において整理した各事業の施策への寄与度を整理					

IV 施策の今後の方向性

- 「達成度指標の状況」及び「事務事業評価結果」を踏まえて、施策の今後の方向性（関連する事務事業に関する継続や見直し等の方向性を含む）を整理
- 整理した方向性を、翌年度（平成31年度）の予算編成と実施計画へ反映

V 外部評価における主な意見

- 施策担当課の評価（I～IV）に対する外部評価における主な意見を整理